

2015年度 アルバロ・コヤオ・レオン氏 サクソフォン特別講義

1. 日 時 : 2015年10月13日(火)13時30分～16時45分
2. 場 所 : O号館 101教室
3. 対象学生【必修】 : 大学院・大学専攻科・大学・短大
サクソフォン専攻・コース生 学内のみ他聴講可
4. 講師紹介 : アルバロ・コヤオ・レオン Alvaro Collao León

チリ出身のサクソフォン奏者、アルバロ・コヤオ・レオンはチリ大学で Miguel Villafruela の元、学士号を取得。その後渡仏しボルドー音楽院にて Maria-Bernardette Charrier の元で現代音楽を学び、ウィーン私立音楽院大学にてラース・ムレクシュの指導の元、芸術（音楽）修士号を取得した。これまでにウィーン・コンツェルトハウス、モーツアルテウム、ウィーン・フォルクスオーパー、台湾国立コンサートホール、ミラノ新劇場、チリ芸術劇場、コルパルテス美術館など欧州、アジア、南米やアフリカなど世界各地で演奏活動を行っている。

これまでに Soloists Interpretation Contest, Pan American Competition Classic Saxophone Mexico 2008, Vienna Fidelio competition the years 2011,2014 にてそれぞれ第1位入賞。Young Soloists Competition 優勝の際はチリ交響楽団と協奏曲を共演した。またソリスト、室内楽奏者としてチリ交響楽団、ガスタイク交響楽団、ボルドー市吹奏楽団、ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団、現代音楽アンサンブル PHACE、Vienna Saxophonic Orchestra などの団体と共演している。その他、ウィーンモダン音楽祭 2015、世界サクソフォンコンGRESS 2015、ウィーンサクソフォンフェスティバル 2013-15、ザルツブルク・ビエンナーレ 2013、第4回ブエノスアイレスサクソフォンフェスティバル、ペルー・サククス 2012、第3回コスタリカサクソフォンフェスティバル、カトヴィツェ音楽祭、アレグロ・ヴィーヴォ室内楽音楽祭、ウィーン芸術祭、ニールペルト音楽祭、グアナフアト国際セルバンテス祭、第3回メキシコ国立自治大学国際音楽祭など、欧州やラテンアメリカの著名な音楽祭にも多数参加している。マスタークラスや文化交流事業など教育活動にも尽力しており、一人一人が個性を伸ばし、社会の中で役割を遂行出来るよう努めている。

5. 講義概要 : 公開形式によるレッスン

小山 麻奈 (大4)	J. Ibert	: Concertino da camera
寺園 優香 (大4)	E. Denisov	: Sonate
崔 勝貴 (大4)	H. Villa Lobos	: Fantasia for Soprano Sax